

単元名 ことばあそびをしよう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。
(3) 言葉の豊かさに気付き、言葉遊びを楽しもうとする。

標準的な展開例

02010205_001

【教材名】 ことばあそびをしよう (上 P. 127～P. 129)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 教材文を音読したり、自分で文を作ったりして言葉遊びを楽しむ。</p> <p>★声に出して楽しもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あいうえお」「あかさたな」を音読し、詩と題名の関係に気付く。 ○「あいうえお」「あかさたな」を使って文を作り、発表する。 ○言葉遊びのうたを音読する。 <ul style="list-style-type: none"> ・数えことば数えうた ・ことばあそびうた ○古くから伝わる歌や言葉を音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるリズムを体感させるため、声に出して読む活動を多く取り入れる。 ・一人読みや列読み、リレー読みなど、音読の形態に変化をもたせて楽しんで読めるように留意する。 ・「あいうえお」や「あかさたな」だけでなく教科書(P.140)を参考にし、五十音の中で自分が書きたい部分を選んで、詩を書かせてもよい。 ・5人でグループを作り、自分達が決めた行を一字ずつ担当を決め、詩を作らせるなどして楽しんで取り組めるようにする。 ・できた文を発表し合い、クラスオリジナルの「あいうえお」の詩を作ってもよい。 【評】 文作りを通して、長く親しまれている言葉遊びのよさや言葉の豊かさに気付き、言葉遊びの文を書く「知識・技能」を評価する。 ・数え言葉や数えうたは、言葉の響きやリズムを感じられるように音読させる。 ・「ことこ」の詩では、どこで区切ったらよいかを考えさせて、音読させるとよい。 ・音読をした後に、漢字に直させてもよい。 【評】 言葉遊びうたを音読する活動を通して、言葉の豊かさに気付き、言葉遊びを楽しもうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・「いろはうた」や「ちいきのかるた」を紹介し、音読するなど、親しめるようにする。 ・他の言葉遊びうたなども紹介してもよい。

【 備 考 】